私たちの活動を紹介します

三朝町

三朝とちもちぞうに縁 JOY 会

寄稿：会長　中村（なかむら）　恭久（やすひさ）さん
＜連絡先＞　0858-43-3131（三朝町商工会 井上さん）
＜設立年＞　平成 24 年
＜会　員＞　メンバーは、活動の趣旨に賛同する有志（三朝町内外を問わない。）幅広い年齢のメンバーで活躍しています。

食のみやこフェスティバルに出店

「とちもちぞうに」を発信中

私たちは「とちもちぞうに」を三朝町から発信しています。活動内容としては、町内の住民の方を対象に食文化に関する調査を行ったり、保存技術の継承（あく抜き方法の DVD 制作）、情報発信等を行っています。

「雑煮」が珍しい県

鳥取県は全国的にみると珍しい、甘い小豆雑煮を食べることで知られています。小豆雑煮は鳥取県を除くと島根県東部、岡山県北部、兵庫県北部等の一部地域でしか食べられていません。その中でも、三朝町は栃の木が「町の木」になっており、古くから山間部を中心に白餅だけではなく、とちもちを雑煮に入れて食べる習慣があります。そして、とちもちを食べると「中気（ちゅうき）(※)」という病にかからないと言い伝えられ、子どもに必ず食べさせるものでした。加えて、三朝の名の由来は「3回朝を迎えると病が治る」というもので、その朝とは、「一年の朝、一月の朝、一日の朝」の三つの朝に起因していると言われています。古くからお正月の祝い膳に必ずある雑煮「三朝とちもちぞうに」は、大変縁起のいいものです。

目の前でついた、つきたてのお餅を提供します。

地元の方に向けても PR ！

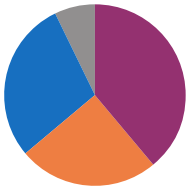
会では、「とっとりご当地グルメフェスタ」等のイベントへの出店に取り組んでいます。これまで出店したイベントでは、食事・持ち帰り共に完売が続出！三朝とちもちぞうにを多くのお客様に知っていただくことができました。

これからも三朝とちもちぞうにの認知度を高め、三朝温泉への誘客につなげるだけでなく、地元の方にも地域に対して誇りを持ってもらうことを目標として活動していきたいです。

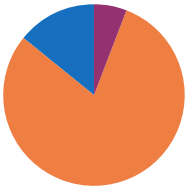
（※）中気とは、脳卒中、中風（ちゅうふう）とも呼ばれる。

三朝町内（賀茂・高勢・三朝・竹田・小鹿・三徳）正月の雑煮に関するアンケート

お正月はどのような雑煮を食べますか？



お正月の雑煮にはどのようなおもちを入れますか？



「※平成24年実施」

毎年倉吉市で開催される、
『中部発！食のみやこフェスティバル』には
必ず出店し三朝温泉を PR しています。
私たちの活動・とちもち雑煮に
興味のある方、一度お越しください。